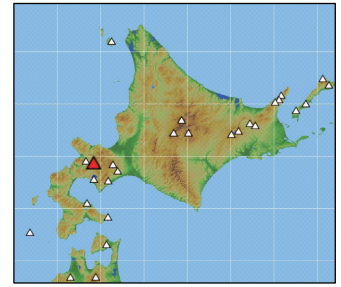


16. 羊蹄山 ようていざん Yoteizan

北緯 42° 49′ 36″ 東経 140° 48′ 41″ 標高 1,898m (蝦夷富士)(標高点)

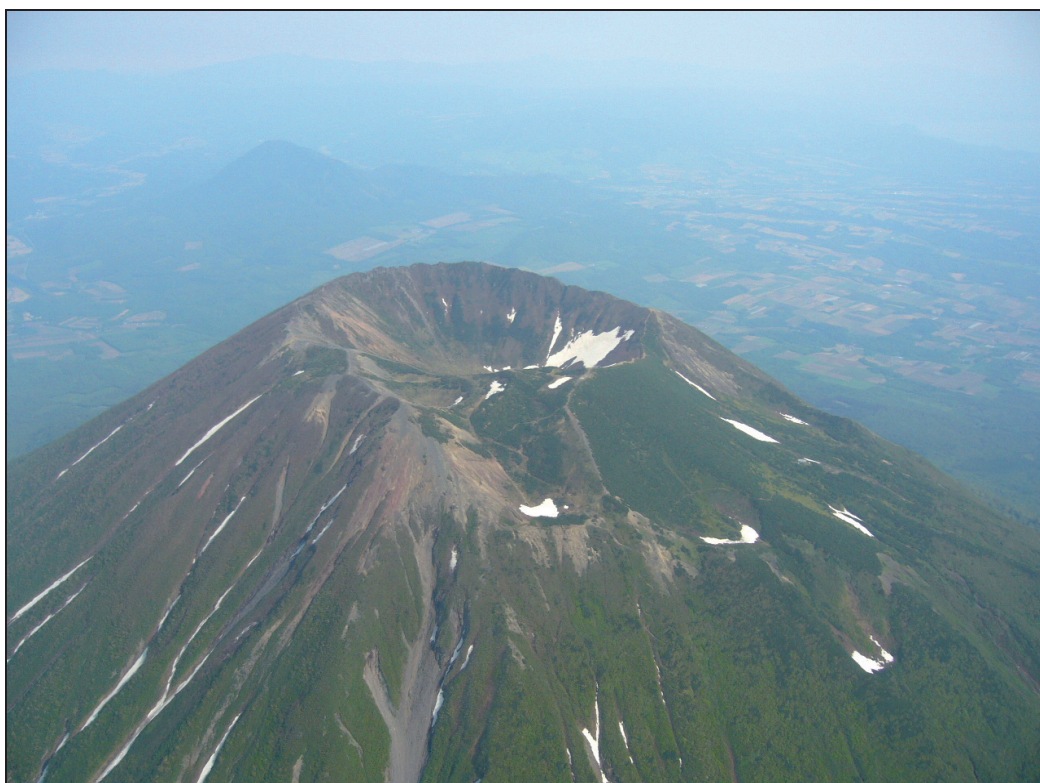


羊蹄山全景 北西側から 2003年5月18日 気象庁撮影

概要

羊蹄山は北海道南西部に位置する標高 1898m の円錐形の成層火山で、山頂には直径 700m の火口、山体西北西斜面には北山火口をはじめとする側火口、山麓には富士見火砕丘をはじめとする火砕丘が分布する。火山体の東、北、西部は尻別川が作る標高 180~270m の沖積面に囲まれる。羊蹄山の活動は、約 5~6 万年前から開始し、活発に軽石や火山灰、溶岩流、火砕流を繰り返し噴出してきた。活動は大きく 2 期に分けられ、4 万年前までに古羊蹄山が形成され、その山体の大規模崩壊の後、新羊蹄山の活動が開始した(上澤・中川 2009)。最新期は更新世末までは側火山の活動が中心であったが、過去 1 万年以降では山頂火口の活動が中心となっている。現在、噴気活動は認められない。構成岩石の SiO₂ 量は 54.2~65.9 wt.% である。

写真



山頂火口 北側上空から
2008年6月18日 気象庁撮影



半月湖 北側上空から
2006年7月25日 気象庁撮影

地形図

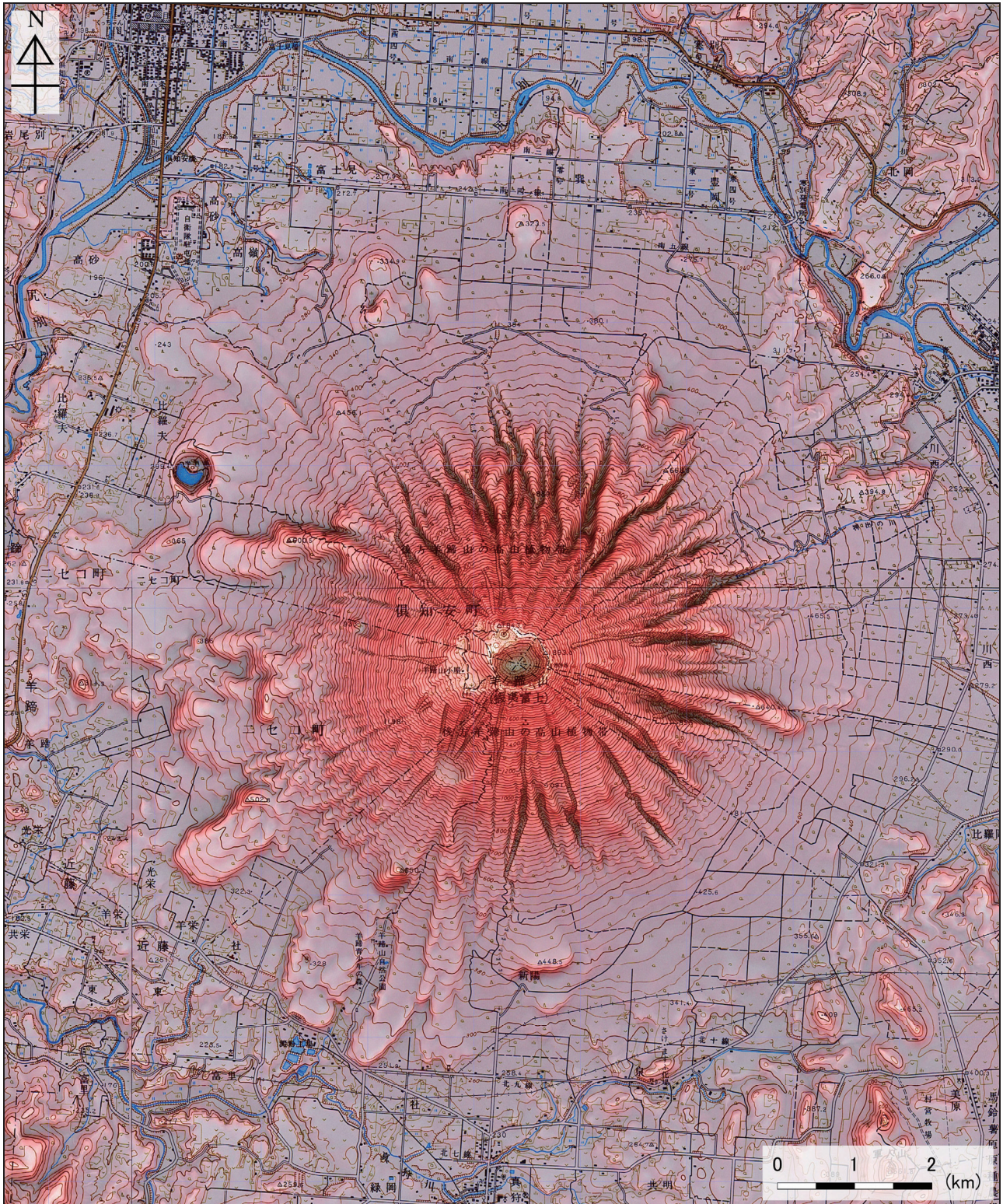


図 16-1 羊蹄山の地形

国土地理院発行の5万分の1地形図(ニセコ、留寿都、岩内、倶知安)及び数値地図50mメッシュ(標高)

噴火活動史

・過去1万年間の噴火活動

完新世の中頃から数1000年にわたり、山頂を中心に断続的に噴火活動があった。約4000年前の噴火による溶岩流は、現在の倶知安町市街の一部まで到達している。最後の噴火は約2500年前の山頂噴火である。(上澤・他, 2011)。

噴火年代	噴火場所	噴火様式	主な現象・マグマ噴出量
5ka<	山頂西側の火口	マグマ噴火	火砕物降下。噴出物量約0.004km ³ 。(VEI2) ¹
4ka	山頂西側及び北側の火口	マグマ噴火	火砕物降下。溶岩流。2回の火砕物を降下させる噴火と1回の溶岩を流出する噴火があった。噴出物量はそれぞれ約0.0009km ³ 、(VEI1)。約0.013km ³ 、(VEI3)、約0.10km ³ (溶岩) ¹
2.5ka	山頂西側の火口	マグマ噴火	火砕物降下。噴出物量約0.0003km ³ 。(VEI1) ¹

※噴火イベントの年代、噴火場所、噴火様式等については、(独)産業技術総合研究所の活火山データベース(工藤・星住, 2006-)を参考とした。年代は暦年代で示す。表中の「ka」は「1000年前」を意味し、西暦2000年を0kaとして示した。

A<: A年以前に起こった噴火イベント

・有史以降の火山活動

記録に残る火山活動はない。

【引用文献】

1. 上澤真平・他(2011) 南西北海道, 羊蹄火山の完新世噴火史の再検討, 火山, 56, 51-63.

全岩化学組成

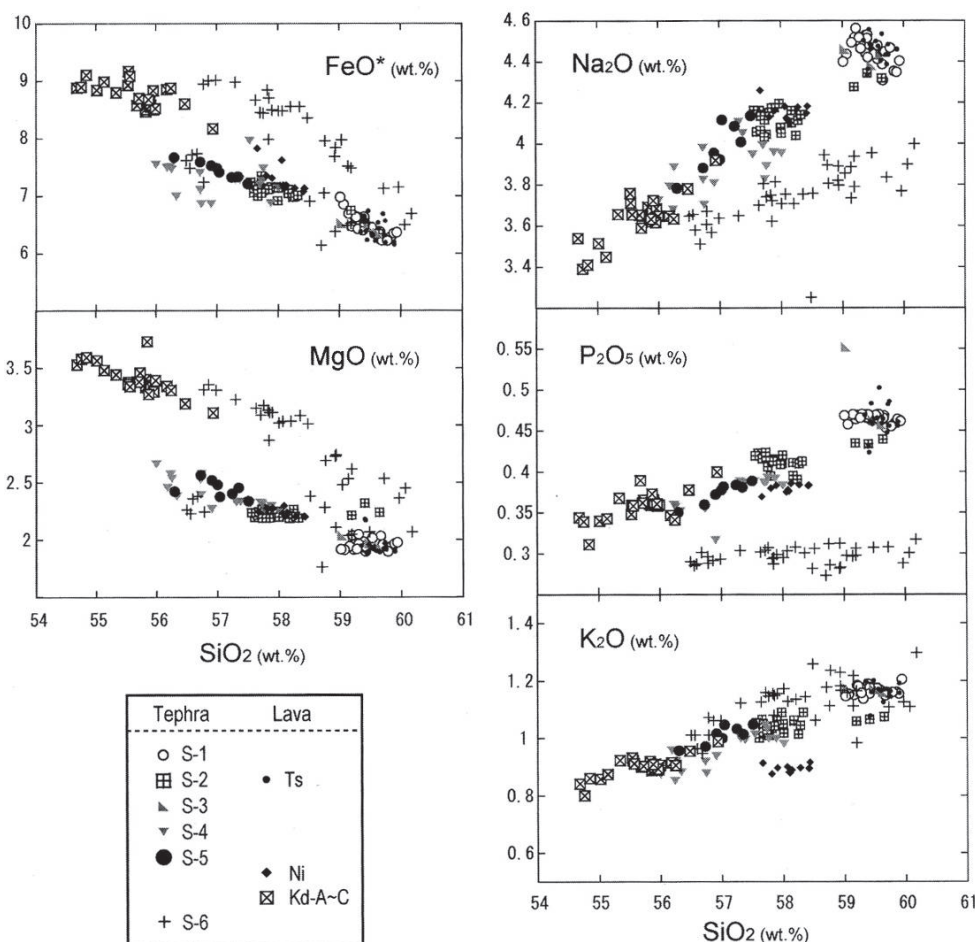


図 16-2 羊蹄火山山頂部周辺噴出物の全岩化学組成ハーカー図(上澤・他, 2011)

主な火山活動

・最近1万年間の噴火

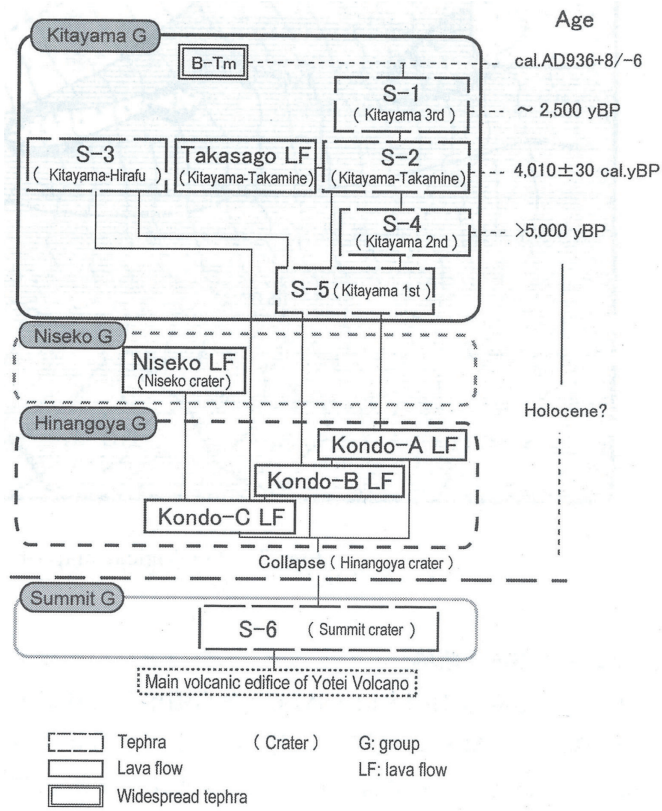


図 16-3 山頂周辺の噴出物の層序図 (上澤・他, 2011)

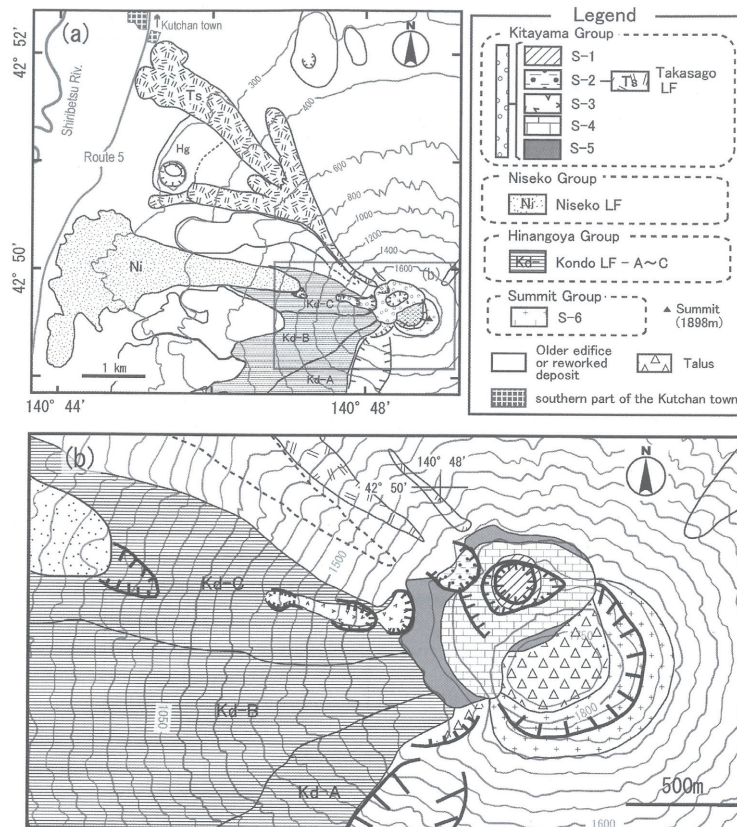


図 16-4 羊蹄山の噴出物分布図 (上澤・他, 2011)

近年の火山活動

・地震活動

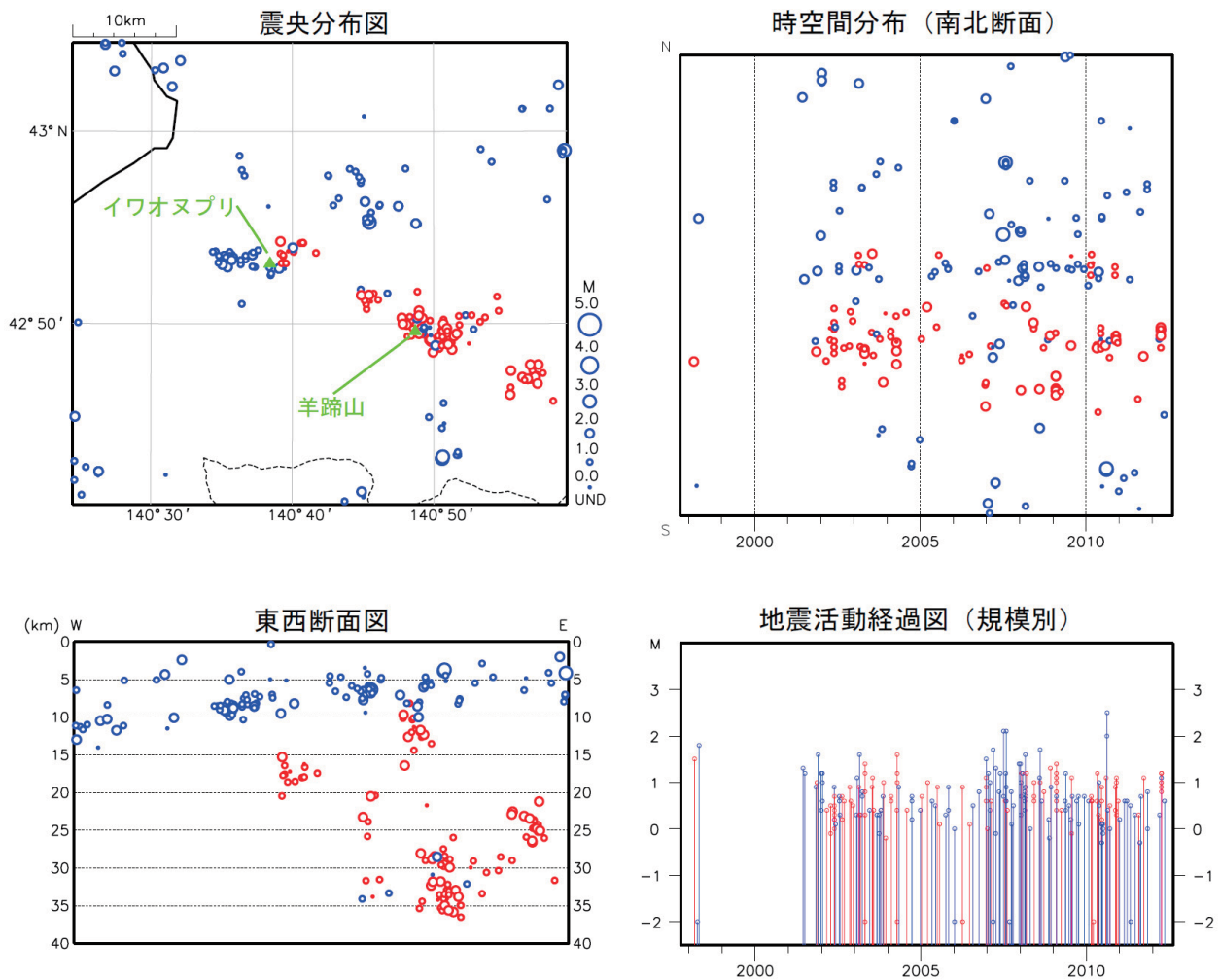


図 16-5 広域地震観測網による浅部の地震活動（青）及び深部低周波地震活動（赤）
(1997年10月～2012年6月30日)

防災に関する情報

①火山防災協議会

なし

②火山ハザードマップ等

なし

③避難実績及び入山規制等の実績

いずれもなし

社会条件等

①人口（平成 23 年 10 月 31 日町村のホームページより）

- ・ 倶知安町：15,354 人
- ・ 京極町：3,400 人
- ・ 喜茂別町：2,409 人
- ・ 留寿都村：1,976 人
- ・ 真狩村：2,193 人
- ・ ニセコ町：4,709 人

②国立・国定公園・登山者数等

（北海道観光局 平成 22 年度北海道観光入込客数調査結果より）

・ 支笏洞爺国立公園

- 倶知安町：1,499,800 人
- 京極町：773,500 人
- 喜茂別町：2,835,800 人
- 留寿都村：1,310,400 人
- 真狩村：476,600 人
- ニセコ町：1,457,600 人

・ 入山者数：9,609 人

（北海道地方環境事務所：平成 22 年度（6/10～10/11）登山道利用者数（登山者カウンター：倶知安口、真狩口、喜茂別口、京極口））

③付近の公共機関

機関・部署名	所在地	電話番号
ニセコ町役場	虻田郡ニセコ町字富士見 47	0136-44-2121
倶知安町役場	虻田郡倶知安町北 1 条東 3 丁目 3	0136-56-8000
京極町役場	虻田郡京極町字京極 527	0136-42-2111
喜茂別町役場	虻田郡喜茂別町喜茂別 123	0136-33-2211
留寿都村役場	虻田郡留寿都村字留寿都 175	0136-46-3131
真狩村役場	虻田郡真狩村字真狩 118	0136-45-2121

④主要交通網

- ・ 国道 5 号線、国道 276 号線、道道 66 号線、道道 97 号線
- ・ JR 函館本線

⑤関連施設

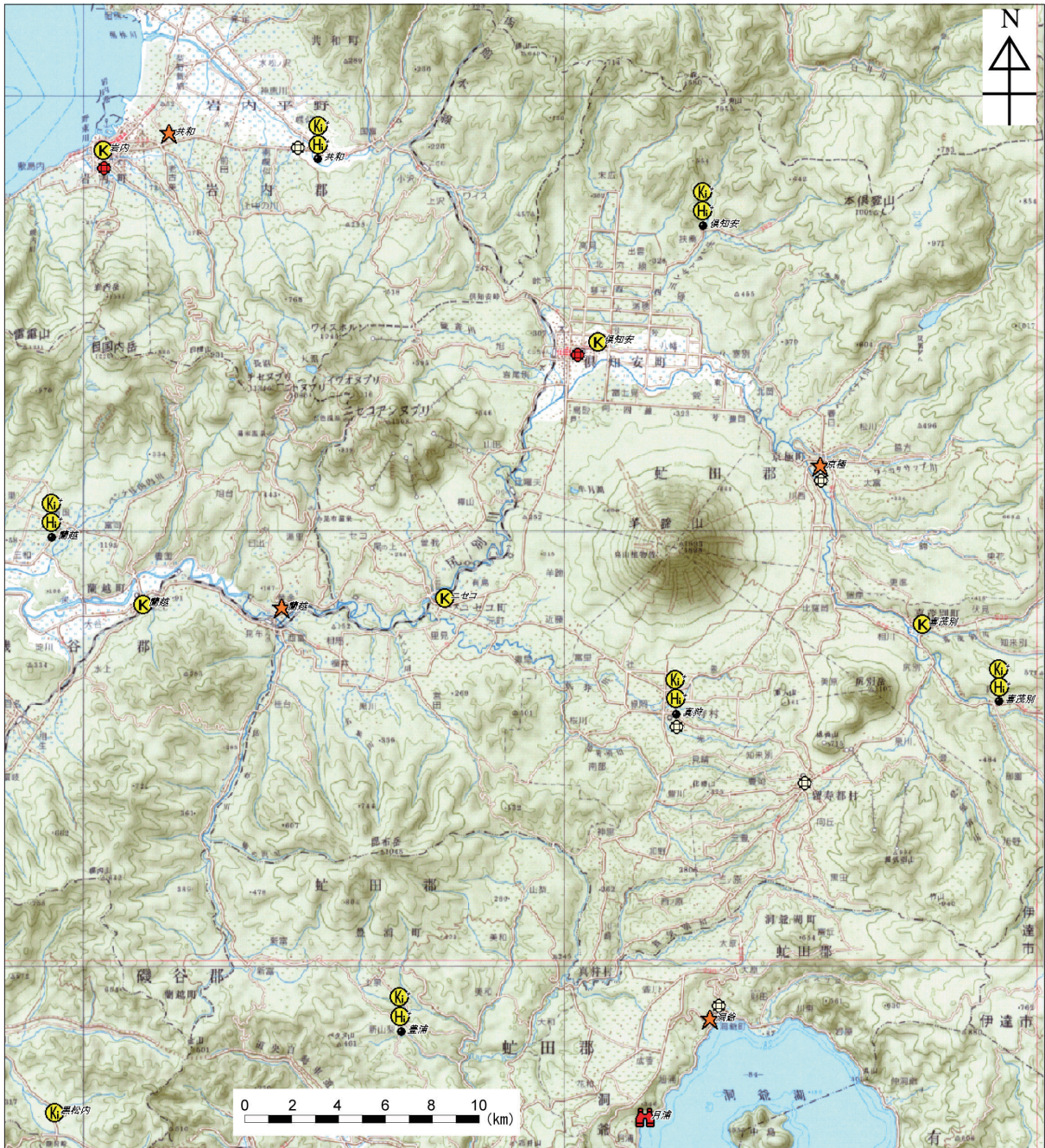
- ・ なし

関係する主な気象官署

機関・部署名	所在地	電話番号
札幌火山監視・情報センター	（札幌管区气象台）札幌市中央区北 2 条西 18 丁目 2	011-611-2421

気象庁および大学等関係機関の観測網

広域 ※ 同一地点に複数の計器を設置している場合には、観測点の位置を●で示し、その周囲に設置している観測点の種類を示している。



国土地理院発行の20万分の1地勢図(岩内、室蘭)

凡		例	
(気象庁)	(国土地理院)	(防災科学技術研究所)	(自治体)
遠望カメラ	★ GPS	Hi-net	震度計
震度計		K-NET	
		KIK-net	

図 16-6 羊蹄山 観測点位置図(広域)

引用文献

上澤真平・中川光弘 (2009) 南西北海道，羊蹄火山の最近約5万年間のテフラ層序：古羊蹄火山起源テフラの発見と岩屑なだれ，日本火山学会秋季大会講演予稿集。
 上澤真平・他 (2011) 南西北海道，羊蹄火山の完新世噴火史の再検討，火山，56，51-63。